

財務分析

- **財務諸表**を読み解くことで、分析対象企業がどのような経営状態にあるのか？ 理解できるようになる

▶ 経営状態が良化しているのか、悪化しているのか、問題の程度は？ など、状況把握に用いる

▶ 他社との比較によって、強み・弱みを把握することができる

- 目指す数値・指標を定める → 経営意思決定に活用する

主な財務分析 項目

1. 成長性分析
2. 収益性分析
3. 効率性分析
4. 安全性分析
5. 総合分析

安全性分析とは？

企業経営の財務面での安定性を決算書の内容から分析すること

< 参考例 >

- ▶ 総資産に占める純資産の割合が多いと安全性が高い
- ▶ 長期稼働で利益を生む固定資産を、返済義務のない純資産で賄えていると安全性が高い
- ▶ 本業による利益が支払い利息よりも少ないのであれば、安全性は低い

分析内容		計算式
自己資本比率	(%)	自己資本 ÷ 総資産
流動比率	(%)	流動資産 ÷ 流動負債
当座比率	(%)	当座資産 ÷ 流動負債
固定比率	(%)	固定資産 ÷ 純資産
固定長期適合率	(%)	固定資産 ÷ (固定負債 + 純資産)
インタレスト・カバレッジ・レシオ	(倍)	営業利益 + 金融収益 (受取利息、配当など) ÷ 支払利息

▶ 分析対象企業の指標だけでなく、「業界全体の傾向」や「競合との差」などと比較ができると、より多面的に状況を掴める

安全性分析の計算について
詳細は、エクセル資料を参照ください

◆安全性分析 1

分析内容		計算式
自己資本比率	(%)	自己資本 ÷ 総資産
流動比率	(%)	流動資産 ÷ 流動負債
当座比率	(%)	当座資産 ÷ 流動負債

安全性分析とは？

企業経営の財務面での安定性を決算書の内容から分析すること

自己資本比率	→ 総資産に占める自己資本の割合を示す。100%に近い方が負債が少なく安定性がある
流動比率	→ 流動負債に対する流動資産の割合、短期的な支払い能力を示す。多い方が安定性がある
当座比率	→ 流動負債に対する当座資産の割合、短期的な支払い能力を示す。多い方が安定性がある
当座比率 = 流動資産から棚卸資産を除いたもの。より現金化しやすい資産をもとに流動性を分析する	

流動資産 230 (うち、在庫 80)	流動負債 100 固定負債 150	純資産 150
固定資産 170	純資産 150	総資産 400
総資産400		自己資本比率 37.5%
流動資産 230	流動負債 100	流動比率 230.0%
当座資産 150	流動負債 100	当座比率 150.0%

●計算フォーム

↓ 枠内 青い色付き部分に数値を入れてください

分析項目	直近期	その1年前
流動資産	52,467千円	42,154千円
うち、在庫（棚卸資産）	15,423千円	12,457千円
当座資産	37,044千円	29,697千円
流動負債	41,245千円	38,412千円
総資産	125,412千円	105,484千円
純資産	38,542千円	32,548千円

自己資本比率	30.7%	30.9%
流動比率	127.2%	109.7%
当座比率	89.8%	77.3%

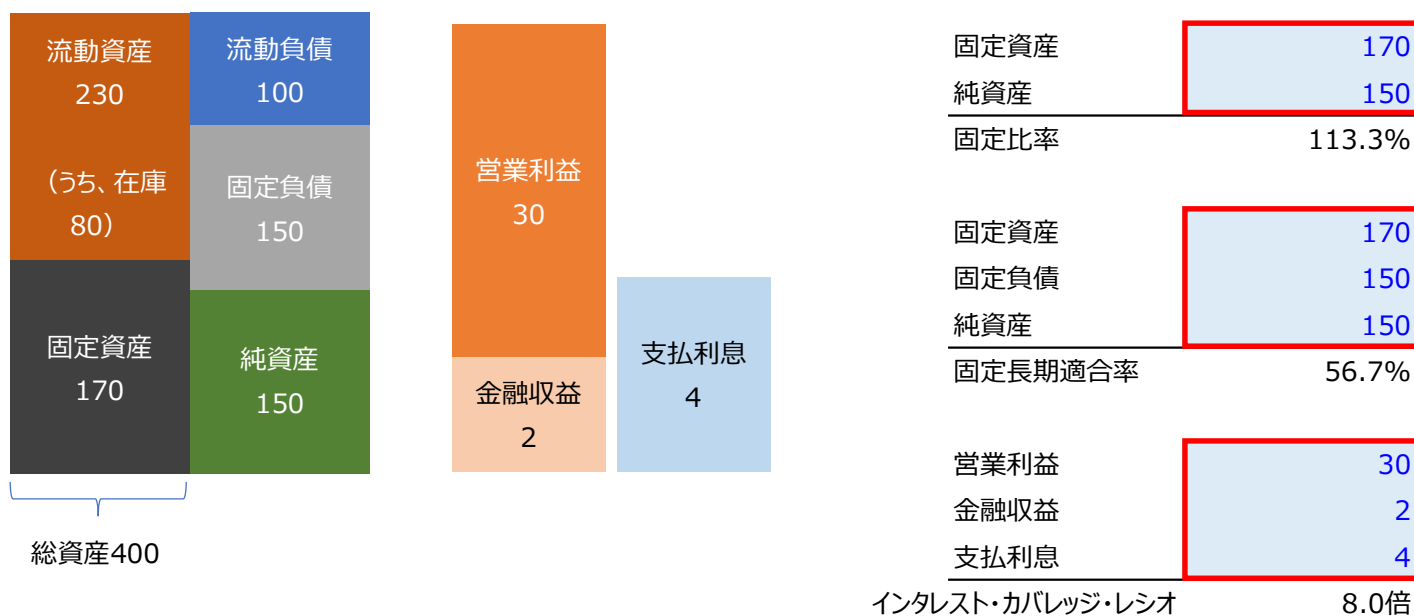
◆安全性分析2

分析内容	計算式
固定比率 (%)	固定資産 ÷ 純資産
固定長期適合率 (%)	固定資産 ÷ (固定負債 + 純資産)
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	営業利益 + 金融収益 (受取利息、配当など) ÷ 支払利息

安全性分析とは？

企業経営の財務面での安定性を決算書の内容から分析すること

- 固定比率** → 自己資本に対して固定資産がどの程度あるか示す。会社の長期的な支払能力を表す
100%を下回っていると、固定資産への投資を純資産で賄えていると言えるので一般に安定性が高いとされる
- 固定長期適合率** → 自己資本と固定負債に対して固定資産がどの程度あるか示す。同じく会社の長期的な支払能力を表す
巨額な投資を要する業界では、自己資本だけで投資（固定資産）を賄うのは難しいので、
固定負債（長期借入金など）も加えた本指標で見ると良い
- インタレスト・カバレッジ・レシオ** → 本業による利益＝営業利益と金融収益（受取利息と受取配当金など）が、
支払利息をどの程度上回っているかを示す。比率が高いほうが財務的に余裕があると言える



●計算フォーム

↓ 枠内 青い色付き部分に数値を入れてください

分析項目	直近期	その1年前
固定資産	72,945千円	63,330千円
固定負債	45,625千円	34,524千円
純資産	38,542千円	32,548千円
営業利益	5,324千円	4,215千円
金融収益	251千円	124千円
支払利息	512千円	452千円

固定比率	189.3%	194.6%
固定長期適合率	86.7%	94.4%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	10.9倍	9.6倍